

自然、地域と 共生する企業をめざして

地球温暖化、有害化学物質低減への対応など、企業に求められる責任は、昨今より大きなものとなってきています。当社は、自然、地域と共生する企業をめざし、これらの課題に取り組んでいく所存です。

2007年度の環境保全活動は、地球温暖化対策を最重要課題として取り組みました。生産の増加が進む中、特に生産ラインでの設備については、専門ワーキングによる活動を立ち上げ、エネルギーの多消費設備改善を重点に活動しました。

マグネシウム casting で使用している六フッ化硫黄(SF₆ガス)は、これまで進めてきた代替を拡大することにより、さらに大きく削減することができました。またこの技術については、第10回 オゾン層保護・地球温暖化防止大賞「経済産業大臣賞」を受賞することができました。

豊田工場に新しく建設した新工場では、工水浄化システム、屋上緑化、太陽光発電など様々な環境技術を盛り込んだ「働く人と環境にやさしい工場」を完成しました。

鉛フリーはんだについては、2010年からの切り替えを控え、法規制順守を確実にできる様、準備を進めております。また、はんだレス化についても早期実現を目指し、技術開発を進めております。

社会的な取り組みとしては、2006 年度に引き続き、愛知万博メモリアル「愛知駅伝」に特別協賛し、当社社員が運営ボランティアに参加するなど、全社一丸となって応援しました。今後も引き続き、地域への貢献活動など積極的に実施していきます。

本年度の報告書については、昨年度から引き続き「読みやすさ」にポイントを置き、活動を正確に、かつ広範囲にお伝えすべく編集しましたが、まだまだ全ての活動を網羅しきれておりません。

今後もより多くのみなさまにご理解いただくため、積極的な情報公開を続けてまいりますので、忌憚のないご意見をお寄せ下さいませよう、お願い申し上げます。

株式会社東海理化
取締役社長

木下 潔



編集方針

年次報告書として8年目、「環境・社会報告書」としては3年目の発行となります。継続的な活動の進捗状況を確認していただけるよう、基本的なページ構成や内容については、前回までの流れを踏襲し編集しています。今回も、自動車部品製造業における環境への取り組みと、地域社会をはじめ様々なステークホルダーとの関わりについての活動を報告しています。

編集にあたっては、当社の事業内容についてあまり詳しくない方にもご理解いただけるよう、専門的な用語をなるべく使用しないようにするとともに、注釈を適宜設けることで、わかりやすい表記に心がけました。

デザインについては、ページ当たりの適切な情報量や文字の大きさ、書体、色づかいなど、読みやすい誌面デザインを目指しました。

●対象期間

本報告書は、東海理化における2007年度(2007年4月1日～2008年3月31日)の活動実績をもとに作成しています。活動の理解を助けるものとして、一部2008年4月以降のデータや情報も記載しています。

●参考とするガイドライン

本報告書は環境省やGRI(Global Reporting Initiative)などの各種ガイドラインの考え方を参考に編集・作成しています。

●本報告書の対象範囲

日本における本社および5工場、3営業所の事業活動です。一部、国内外の子会社・関連会社の活動も含まれます。

●次回の発行予定

本報告書は毎年3月末に環境パフォーマンスの実績を集約・解析したものです。次回は2009年6月の発行を予定しています。

本年度の改善点

- ・年齢・性別や障害に関係なく、あらゆる人が読みやすい誌面づくりのために、基本フォントとして、ユニバーサルデザインの視点から開発された「イワタUDフォント」を採用しました。
- ・各ページ上部に、各項目の活動内容を簡潔にまとめた文章を大きく表示し、各取り組みの概要の把握が容易にできるようにしました。

■発行・環境活動に関するお問い合わせ

株式会社東海理化 施設環境部
〒480-0195
愛知県丹羽郡大口町豊田三丁目260番地
TEL(0587)95-9002 FAX(0587)95-1261
URL <http://www.tokai-rika.co.jp/>

CONTENTS

ごあいさつ	1
編集方針・コンテンツ	2
東海理化プロフィール	3

環境マネジメントシステム

環境への基本姿勢	5
環境取り組み体制	6
環境取り組みプランと実施状況	7
環境マネジメントシステムの運用	9
環境会計	13
環境コミュニケーション	14
環境面から見た物質フロー	15

開発・設計

環境負荷物質の低減	17
製品の軽量化とリサイクル材使用の推進	19

生産

工場の環境保全対策	20
地球温暖化防止活動	21
廃棄物低減・リサイクル活動	23
化学物質の総合管理	25
物流面での取り組み	26

各工場での取り組み

本社工場	27
西枇杷島工場	28
豊田工場	29
音羽・萩工場	30

社会との関わり

社会貢献活動	31
地域交流活動	35

取引先との関わり

グリーン調達	36
--------	----

従業員との関わり

雇用・人材育成	37
労働安全衛生・健康づくり	38

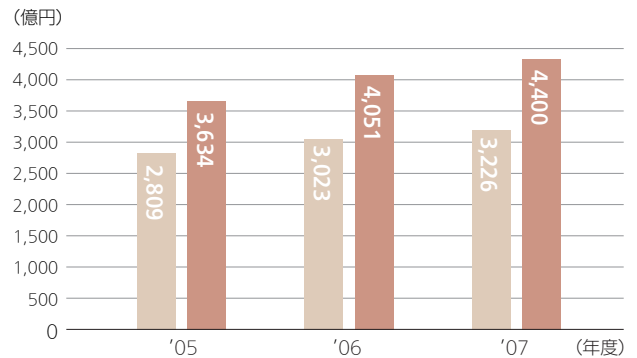
東海理化プロフィール

会社概要

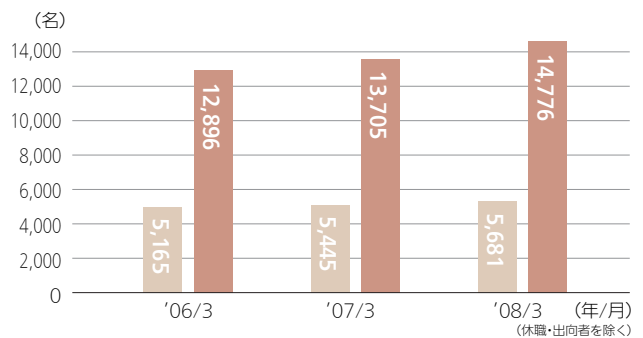


- **社名** 株式会社東海理化
(登記社名 株式会社東海理化電機製作所)
- **設立** 1948年8月30日
- **資本金** 228億円(2008年3月末現在)
- **主要製品** 自動車用各種スイッチ、キーロック、シートベルト、シフトレバー、エレクトロニクス応用製品、ステアリングホイール、コネクタ、ミラー、樹脂ホイールカバー、オーナメント、チャイルドシート、家庭電器用機器
- **グループ** 子会社 国内10社 海外16社
関連会社 国内4社 海外4社 (計34社)

■売上推移



■社員数推移



環境活動の歩み

1971年	安全衛生環境管理室発足
1977年	環境に関する規程類の整備
1986年	最大電力監視制御開始 高圧自動力率制御開始
1988年	空気圧縮機台数管理・圧力制御開始
1991年	洗浄用フロン・トリエタン代替化開始(～'94)
1992年	経営会議で「環境にやさしい(ローインパクトな)企業活動・生産活動」に取り組むことを確認 ウレタンハンドルのフロン代替化開始 省エネ・廃棄物低減委員会発足 施設環境部設立(安全衛生環境管理部より独立)
1993年	「環境に関する取り組みについて(環境ボランティアプラン)」策定
1994年	洗浄用ジクロロメタン代替化開始(～'98)
1995年	洗浄用フロン全廃 トリクロロエタン全廃 熱処理リジェネレーター導入 めっき工場の蒸気ボイラーガス化開始 ABS樹脂めっき槽工業用水化開始
1996年	塗装冷却水ポンプインバーター化開始 音羽工場都市ガス化開始 ノリルめっき槽工業用水化開始
1998年	経営理念改定により、環境保全活動をさらに重視 冷却水ポンプ自動運転開始 本社工場に燃料電池の導入 蒸気吸収式空調機変更(R22全廃)
1999年	環境スローガン(基本理念)、環境方針策定 「東海理化環境ニュース第1号～第4号」発行 シフトノブ脱塩ビ化開始 成形機力率改善「フェーズライナー」 熱処理雰囲気ガスLNG化開始
2000年	VCセンターコージェネレーションシステム導入 VCセンター氷蓄熱式空調導入 ISO14001認証取得(全社一括) 生産技術展示会にて環境事例展示

2001年	樹脂廃棄物低減展示会 環境報告書発行(第1回) 分散型コージェネレーションシステムの導入
2002年	土壌・地下水汚染への対応 ゼロエミッション達成 ISO14001第1回更新審査 焼却炉廃止
2003年	豊田工場コージェネレーションシステムの導入 グリーン調達ガイドライン策定 ELV規制への対応 環境取り組み組織の見直し
2004年	音羽工場コージェネレーションシステムの導入 エコファクトリー活動の展開 グローバル監査の実施 グリーン調達ガイドライン改定 2010年目標の策定
2005年	本社工場B1棟コージェネレーションシステム導入 本社工場回転式乾留装置導入 SF ₆ ガスをFKガスに代替試行 改訂版ISO14001更新審査 グローバル環境目標設定
2006年	光触媒を利用した冷却水除菌装置開発 本社の環境関連施設を見学する「エコツアー」を開始 環見本市に当社の環境取り組み事例を出展 SF ₆ ガスの代替により地球温暖化ガスを大幅低減 太陽光発電パネル設置など環境に配慮したエコパークを建設
2007年	工水浄化システムにより薬品使用ゼロ化実現 豊田工場、音羽工場に太陽光発電装置を設置 第10回 オゾン層保護・地球温暖化防止大賞受賞 本社新電波実験棟に壁面緑化を採用

東海理化の製品

当社では、人の意志を車に伝えるヒューマン・マシン・インターフェイス部品をはじめ、車を守るセキュリティ部品、生命を守るセイフティ部品など、人と車のよりよいコミュニケーションをつくりだす製品の製作・販売を通じて、車のある豊かな社会づくりに貢献しています。



人
People

人とクルマと地球の調和 Harmony Between People, Cars and Earth.

ヒューマン・マシン・インターフェイスシステム
Human Machine Interface Systems and Controls

セキュリティシステム
Security Systems

セイフティシステム
Safety Systems



クルマ
Car

ヒューマン・マシン・インターフェイスシステム



レバーコンビネーション
スイッチ

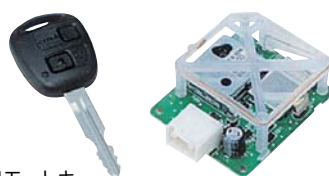


ステアリングスイッチ
& パドルシフトスイッチ



センター
クラスター
モジュール

セキュリティシステム



リモートキー
システム



スマートキー
システム

エレクトロ
シフトマチック



セイフティシステム



プリクラッシュシートベルト



ステアリング
ホイール



足元照明付き
ドアミラー

アクセサリ型スマート携帯機

“welje (ウェルジュ)”



携帯機をファッションブルに
デザインしました。

エレクトロニクス



イモビライザー
コントローラー

電気自動車
モーター用
回転センサー



装飾品

LEXUS



オーナメント

住宅用機器



玄関用イモビライザー
キーシステム「ラ・ロック」



窓施錠モニター